

## ハチ毒アレルギーに関するアンケート分析について（概要）

令和2年11月 森林整備課

### ＜アンケートの主旨＞

ハチ毒アレルギー対策について、取組状況や課題等をアンケート調査により把握・分析し、今後のハチ毒アレルギー対策を進めるための施策に活用することが目的です。

### ＜アンケート回答＞

調査依頼159者 回答97事業者（回答率61％）

### ＜アンケート結果＞

#### 【ハチ毒アレルギー対策の取組状況と課題、その対応】

#### ＜取組状況＞

##### ○検査状況

- ・ハチ毒アレルギー検査について、定期的又は申請があれば検査させている事業者は52社（全体53％）。
- ・事業者が、ハチ毒アレルギーの陽性判定を受けている従業員を把握しているのは58社（全体64％）。現場従業員の約3割はハチ毒アレルギーの陽性判定を受けている。

##### ○自己注射器（エピペン）保有状況

- ・内勤職員も現場従業員も全員保有しているが4社、現場従業員のみ全員保有が6社。
- ・陽性判定を受けた従業員が自己注射器（エピペン）を保有している事業者は33社あるが、陽性判定を受けた従業員でも、約3割しか自己注射器（エピペン）を保有していない状況にある。

##### ○アレルギー対応病院

- ・けがによる対応病院について事前確認しているが、事業者48社（全体51％）は、ハチ毒アレルギー対応可能な病院までは把握できていない。

##### ○講習会開催状況の有無

- ・医師の診断等による個人指導はあるものの、事業者主催による講習会や受講したことがない事業者が全体の67％も占めている。

#### ＜課題＞

- 過去3年間、自己注射器（エピペン）を使用した事例が少ないことは、ハチ毒アレルギーのアナフィラキシーショック症状について、該当者を含む周りの方も認識は十分でないと思われる。知識や対処方法等について学ぶ機会が必要である。（症状や処方タイミング、病院への連絡など）
- ・自己注射器（エピペン）は使用期限が1年程度で、毎年交換が必要であるため費用も掛かる。1本の効果は30分であり、作業現場によっては病院で適切な処置を受けるまでに2本（1時間）必要なケースもある。

#### ＜対応＞

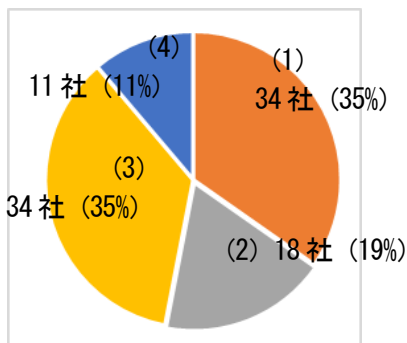
- ・アナフィラキシー・アナフィラキシーショックの受入可能な病院については、岐阜県医師会のホームページで情報提供済み。
- ・このアンケートで改めて危険性について確認したという意見や、ハチ毒アレルギーに関する講習会や受講を望む事業者も多い。次年度以降、県主催の労働安全対策講習会に、医師を招いた講義を検討していく。
- ・林業事業体に対する自己注射器（エピペン）購入に必要な経費助成についても検討する。

【ハチ毒アレルギーの検査状況について】

問1. 従業員に対して検査を受けさせたことはありますか。(いずれか1つ)

<回答のあった事業者数：97社>

- 定期的に検査を受けさせている事業者は34社で、全体の35%を占めている。
- 検査は個人対応と回答している事業者も多く34社で、全体の35%を占めている。しかし、個人対応としている事業者のうち、79%の事業者は、従業員の状況を把握できていない。

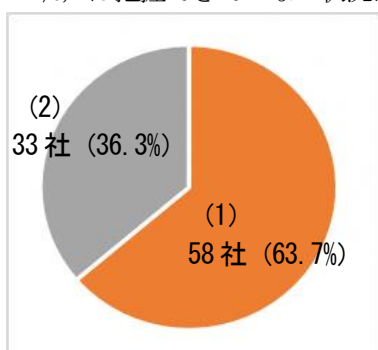


- (1) 定期的に検査を受けさせている・・・34社
- (2) 従業員から申請があれば検査を受けさせている・・・18社
- (3) 検査は個人対応としている・・・34社
- (4) その他・・・11社

問2. 陽性と判断された従業員を把握していますか。(いずれか1つ)

<回答のあった事業者数：91社>

- 陽性と判断されている従業員を58社(全体63.7%)が把握できているが、残りの33社(全体36.3%)は把握できていない状況にある。



- (1) 把握している・・・58社
- (2) 把握していない・・・33社

問3. 従業員にハチ毒アレルギーに該当従事者は何名いますか。  
(※ 問2で「把握している」と回答した事業者)

<回答のあった事業者数：58社>

- 内勤職員について、全従業員216人のうち、29人(全体1.3%)がハチ毒アレルギーに該当している。
- 現場従業員について、全従業員729人のうち、200人(全体2.7%)がハチ毒アレルギーに該当している。現場従業員は内勤職員よりハチ毒アレルギーの陽性判定者の割合が高い。
- 把握していない事業者も33社いるので、ハチ毒アレルギーの陽性判定者はさらに多いと考えられる。

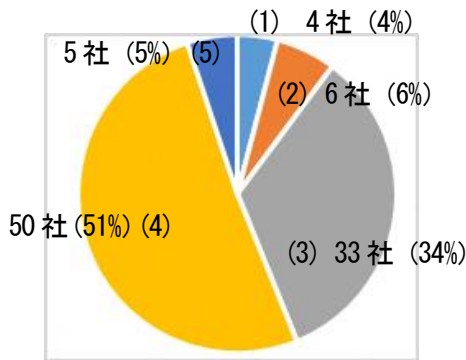
区分	全従業員	アレルギー該当者	割合
内勤職員	216人	29人	1.3%
現場従事者	729人	200人	2.7%

**【自己注射器（エピペン）の保有状況】**

問4. 従業員の自己注射器（エピペン）の保有状況について教えてください。（いずれか1つ）

<回答のあった事業者数：68社>

- 現時点では誰も保有していない事業者が一番多く50社で、全体の51%は保有していない状況にある。
- 陽性判定を受けた従業員でも、約3割の従業員が保有できていない。
- 「ハチ毒アレルギーの症状がない」、「IgE抗体が陰性」以外は、次回、蜂に刺された時に発症する可能性がある以上、自己注射器（エピペン）は保有すべきと考える。



- (1) 内勤職員と現場従業員は全員保有している・・・4社
- (2) 現場従業員のみ全員が保有している・・・6社
- (3) 陽性判定を受けた従業員が保有している・・・33社  
※陽性判定を受けた従業員198人のうち141人が保有
- (4) 現時点では誰も保有していない・・・50社
- (5) その他・・・5社

<その他の意見>

- ・アレルギー有無に関係なく、1現場に最低1つは保有している
- ・従業員が個人的に保有している
- ・事務所に保管している など

<参考>

ハチ刺傷で全身症状出現歴	ある	→ IgE抗体 陽性	→ エピペン持参
		→ IgE抗体 陰性	→ エピペン持参（可能性あり）
ハチ刺傷で全身症状出現歴	ない	→ IgE抗体 陽性	→ エピペン持参（可能性あり）
		→ IgE抗体 陰性	→ 必要性なし

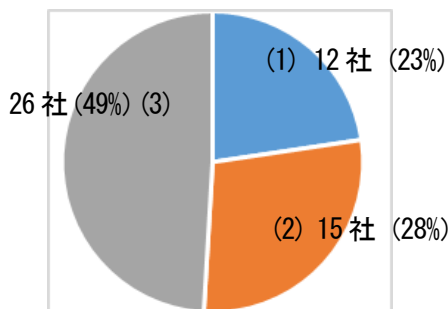
**【自己注射器（エピペン）購入の助成制度】**

問5. 貴社において、従業員が自己注射器（エピペン）の購入に対する助成はありますか。

（※問4で保有していると回答した事業者）

<回答のあった事業者数：53社>

- 助成制度がない事業者は15社で、全体の28%を占めている。
- 自己注射器（エピペン）購入の一部を助成する事業者は12社で、全体の23%を占めている。
- その他の26件については、その大半が一部助成でなく、全額事業者負担しているという意見であり、労働安全は事業者の責務という認識がある。



- (1) 購入経費の一部を助成している・・・12社
- (2) 助成制度はない・・・15社
- (3) その他・・・26社

<具体的な意見>

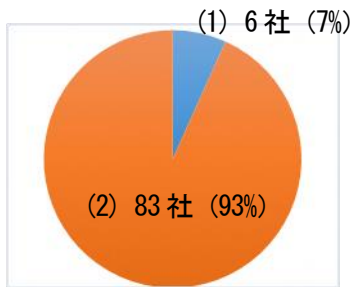
- ・検査から購入に至る全ての費用を事業者で負担
- ・健康保険の適用で、個人負担分を事業者が全額負担
- ・病院を受診した費用も全額負担
- ・アレルギー者となった場合、100%購入経費を負担
- ・病院での健康診断時、現場従業員は使用説明等聞いて処方してもらい、自社で購入
- ・要望があれば助成する用意はある など

【自己注射器（エピペン）の使用状況について】

問6. 過去3年以内に自己注射器（エピペン）を使用した事例はありますか。（いずれか一つ）

<回答のあった事業者数：89社>

- 過去3年間で自己注射器（エピペン）を使った事業者は6社。
- 自己注射器（エピペン）を使用する事例がなかった事業者が83社で、全体の93%であった。  
ハチに刺されてもアナフィラキシーショックを発症しなかっただけで、今後も発症しないとは言えない。



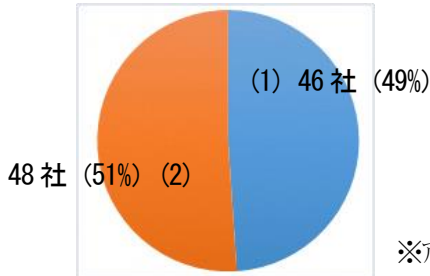
- (1) 自己注射器（エピペン）を使用した・・・6社
- (2) 自己注射器（エピペン）の使用はなかった・・・83社

【アレルギー対応の病院について】

問7. ハチ毒アレルギーに対応した病院を事前に把握していますか。（いずれか一つ）

<回答のあった事業者数：94社>

- アレルギー対応している病院を事前に確認している事業者は46社で全体の約5割を占めている。
- 事前確認できていない事業者に対し、アレルギー対応病院については、以下の病院を情報提供済み。



- (1) アレルギー対応の病院は事前に把握済み・・・46社
- (2) けが等の病院は確認しているが、ハチ毒アレルギー対応までは確認はしてない・・・48社

※アナフィラキシー・アナフィラキシーショックに対応した病院は以下のアドレスで確認できます。

岐阜県医師会 HP <https://www.gifu.med.or.jp/doctor/asthma/emergency-adult>

地区名	医療機関名	電話番号	備考
岐阜	朝日大学病院	058-253-8001	◎
	笠松病院	058-276-2881	◎
	加納渡辺病院	058-272-2129	○
	河村病院	058-241-3311	○
	岐阜総合医療センター	058-246-1111	◎
	岐阜市民病院	058-252-1101	◎
	岐阜赤十字病院	058-231-2266	○
	岐阜清流病院	058-239-8111	○
	岐阜ハートセンター	058-277-2277	○
	千手堂病院	058-251-3218	○
	近石病院	058-232-2111	○
	長良医療センター	058-232-7755	○
	みどり病院	058-241-0681	○
	安江病院	058-253-7745	◎
	山内ホスピタル	058-276-2131	◎
	福富医院	058-238-8555	○
	岐阜大学医学部附属病院	058-230-6000	◎
	東海中央病院	058-382-3101	○
	横山病院	058-382-0119	○
	松波総合病院	058-388-0111	◎
羽島市民病院	058-393-0111	◎	
岐阜北厚生病院	0581-22-1811	○	
西濃	大垣市民病院	0584-81-3341	◎
	大垣中央病院	0584-73-0377	◎
	海津市医師会病院	0584-53-7111	○
	西美濃厚生病院	0584-32-1161	◎
	博愛会病院	0584-23-1251	○
	揖斐厚生病院	0585-21-1111	○
	新生病院	0585-45-3161	◎

地区名	医療機関名	電話番号	備考
中濃	中濃厚生病院	0575-22-2211	◎
	関中央病院	0575-22-0012	○
	美濃市立美濃病院	0575-33-1221	○
	鷺見病院	0575-82-3151	◎
	郡上市国保白鳥病院	0575-82-3131	○
	郡上市民病院	0575-67-1611	◎
	木沢記念病院	0574-25-2181	◎
	太田病院	0574-26-1251	○
	伊佐治医院	0574-43-0011	○
	白川病院	0574-72-1111	◎
	可児とうのう病院	0574-25-3113	◎
	藤掛病院	0574-62-0030	○
東可児病院	0574-63-1200	◎	
桃井病院	0574-67-2108	○	
東濃	県立多治見病院	0572-22-5311	◎
	多治見市民病院	0572-22-5211	○
	東濃厚生病院	0572-68-4111	○
	中津川市民病院	0573-66-1251	○
	市立恵那病院	0573-26-2121	◎
国保上矢作病院	0573-47-2211	○	
飛騨	高山赤十字病院	0577-32-1111	◎
	久美愛厚生病院	0577-32-1115	◎
	県立下呂温泉病院	0576-23-2222	○
	下呂市立金山病院	0576-32-2121	○
飛騨市民病院	0578-82-1150	◎	

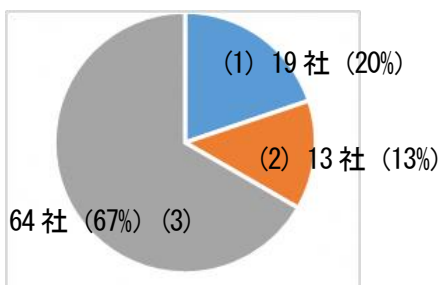
◎印：常時受入可能  
○印：あらかじめ電話連絡で確認のうえ受入可能

【ハチ毒アレルギーに関する講習】

問8. 過去3年以内にハチ毒アレルギーに関する講習会を開催、又は受講させたことはありますか。(複数回答)

<回答のあった事業者数：96社>

- ハチ毒アレルギーに関する講習会を開催したことがない受講もない事業者が64社で、全体の67%も占めている。
- 自社で講習を開催したことがある事業者19社の内訳は、林業会社12社+森林組合7組合となっている。



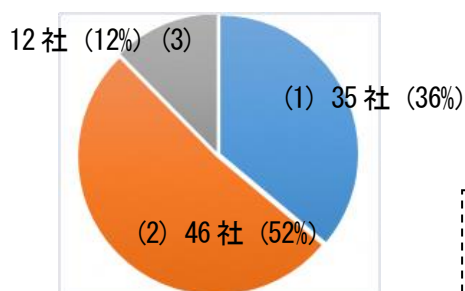
- (1) 自社の講習会を開催したことがある・・・19社
- (2) 自社以外の講習会で受講させたことがある・・・13社
- (3) 講習会を開催したことがない又は受講もない・・・64社

【講習会の開催希望】

問9. ハチ毒アレルギーに関する講習会を開催、又は受講させたいと思いますか。(複数回答)

<回答のあった事業者数：97社>

- 自社で講習会を開催したい事業者が35社、他社の講習会に参加させたいが50社で、講習会等を希望する事業者は全体で85社、9割近くの事業者が希望している。



- (1) 自社の安全大会等で講習会を開催したい・・・35社
- (2) 自社以外で開催する講習会等に参加させたい・・・50社
- (3) 講習会を開催しない又は参加させたくない・・・12社

<開催しない、又は参加させたくない理由>

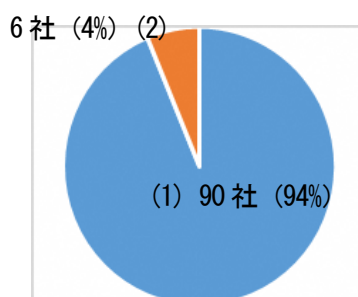
- ・従業員がいない、
- ・受講する時間がない、
- ・各自知識を有している
- ・毎年救急演習の中で講習を受け、かかり付け病院で指導してもらう
- ・蜂等に関しては安全教育を月1回行っているため、受講予定はない
- ・ハチ毒に対し、割合強いため、
- ・必要性を感じない

【自己注射器（エピペン）の購入支援】

問10. 自己注射器（エピペン）の購入助成があれば活用しますか。(いずれか一つ)

<回答のあった事業者数：96社>

- 助成金を活用したい事業者は90社で、全体の94%を占めている。
- 活用をしない理由として、考えている事業者が多い。



- (1) 活用したい・・・90社
- (2) 活用しない・・・6社

<活用しない理由>

- ・これまで検査結果で判明した陽性者から要望がない（管理が難しい）
- ・助成金があれば活用したいが命に係わることなので既に会社で負担
- ・必要性を感じないため、
- ・少ない人数なので不要、
- ・自己管理なので本人に任せる

問 1 1. ハチ毒アレルギー対策に関する意見について（自由記載）

（主な意見）

- ・ハチ毒アレルギーに対応できる病院リストを知りたい。
- ・エピペンについては、1年間の使用期限であり、毎年、診察しての処方が必要です。また、1回の使用で30分間と2本所持しています。よって経費負担に助成があるといいと思います。
- ・エピペンの購入支援の他に、定期検査（年1回）に対する費用支援もあると良いと思います。
- ・ハチ毒だけでなく、マダニや最近ではヤマビルのアレルギーもあると聞く。それらのアレルギーに対する補助があるとありがたい。
- ・エピペンは有効期限（約1年）があり、毎年の買い替えが必要となります。費用負担をしていただけるとありがたいと思います。
- ・アレルギー検査、医師の診断後の処方箋がないとエピペンが買えないので、検査と診断の費用補助もお願いしたい。
- ・補助金を出してほしい。
- ・本人に気をつけているだけで、注射器までは持たせていません。助成等があるのなら活用したいです。
- ・エピペンの補助も重要だが、ハチに刺されないための殺虫剤や、作業人工にゆとりのある事業費づくりをお願いしたい。
- ・対策として、ポイズンリムーバーを購入し、現場従業員全員に渡している。
- ・これまで（数年間）で1人程度のハチ刺されていますが、アレルギー反応はありませんでした。これを機に対策を講じたいと思います。
- ・エピペンが高い、耐用年数が短い
- ・エピペンを頼んだところ出してもらえなかった。
- ・このアンケートにより改めて危険性について確認しました。本人だけでなく周りの人がどう対応したらよいか学ばなくてはならないと感じました。
- ・エピペンは処方でのみ出してもらえるので予防的に広く配布できないか。